

令和2年度事業報告

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

1. はじめに

宮城県内における新型コロナウイルス感染拡大とともに始まった本年度は、協会運営の全てにわたって実施可否又は感染対策の検討を行いながら対応にあたる年度となった。

役員改選期での定時総会は、延期や代替手段による開催が困難と判断し、出席する会員を制限するなど感染対策を最優先に協会として初めての形式をとり開催した。

事業運営では基幹事業である宮城県芸術祭については、現状としてできる限りの無理のない形での開催を共催7団体の意向を確認した上で、部長会議で決定。事業の開催又は中止については各部における判断に基づき、舞台部門の事業と茶会は中止することとし、展示・文芸部門において準備から会場運営のあらゆる面で感染対策を徹底の上、当初の予定どおり9月から開催。年をまたいで3月の音楽コンクール本選まで無事に全事業を終了させた。芸術祭以外の事業についても同様に感染状況を見極めながら、実施可能と判断した事業は、必要な対策を講じながら開催した。

特に、前年度より検討をすすめ初めて開催した河北新報社との連携事業「第1回杜のみやこ工芸展」、「フォトサミット in Sendai 2020」は、両事業とも想定以上の応募者数になるなど、初めての開催も円滑に運営し、今後の事業の礎とする成果を十分に残すこともできた。

本年度は今後長引くことも見込まれるコロナ禍の芸術文化活動の在り方と、感染対策の徹底からもたらされた思考の転換により、運営効率や経費削減など、感染下における様々な難しい判断が求められた協会運営をとおり、これからもつなげる実績も残すことができた年度となった。

2. 会員状況

正会員及び名誉会員の総数は、前年度末 1,956 名から当年度末 1,914 名。42 名の減少となった(新入会員 58 名・退会会員 100 名)。また、賛助会員の個人及び団体の総数は前年度末 111 から当年度末 112 件(団体 76、個人 36)の 1 件の増加となった(新規 5〔団体 3、個人 2〕、退会 4〔団体 2、個人 2〕)。過去 3 年分も併せた各内訳及び推移は下表のとおりである。

部 門	平成 29	平成 30	令和元	令和2			
				正会員	名誉会員	計	前年比増減
絵画部 (日本画)	91	90	89	82	2	84	△5
絵画部 (洋画)	333	346	345	346	3	349	4
彫刻部	39	40	39	39	0	39	0
工芸部	86	87	87	87	1	88	1
書道部	416	404	391	368	1	369	△22
華道部	158	147	134	138	0	138	4
邦楽部 (三曲・琵琶)	35	39	38	36	0	36	△2
邦楽部 (長唄)	36	34	34	33	0	33	△1
洋楽部	126	134	137	135	2	137	0
演劇部	1	1	2	2	0	2	0
文芸部	253	240	242	225	2	227	△15
舞踊部	10	13	13	13	0	13	0
茶道部	316	302	286	281	0	281	△5
写真部	122	120	119	118	0	118	△1
計	2022	1997	1,956	1,903	11	1,914	△42
賛助会員	97	120	111	—	—	112	1
合 計	2,119	2117	2,067	—	—	2,026	△41

3. 会議に関する事項

定時総会、理事会及び監事会を次のとおり実施した。

(1) 定時総会

会議名	期日	会場	審議事項
定時総会	6/8	芸術協会 会議室	第1号議案 令和元年度事業報告及び収支決算の承認について 第2号議案 役員の選任について

(2) 理事会

会議名	期日	会場	審議事項
第1回理事会	4/20	芸術協会 会議室	第1号議案 令和元年度事業報告及び収支決算の承認について 第2号議案 役員候補者の推薦について 第3号議案 令和2年度定時総会の開催について 第4号議案 正会員の入会承認について 第5号議案 賛助会員の推薦について
第2回理事会	6/8	芸術協会 会議室	第1号議案 理事長及び執行理事の選定について 第2号議案 参事の推薦について 第3号議案 賛助会員の推薦について
第3回理事会	8/3	芸術協会 会議室	第1号議案 正会員の入会承認について 第2号議案 賛助会員の推薦について
第4回理事会	12/11	芸術協会 会議室	第1号議案 令和3年度事業計画及び予算編成の方針について 第2号議案 正会員の入会承認について
第5回理事会	3/22	芸術協会 会議室	第1号議案 令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 第2号議案 名誉会員の推薦について 第3号議案 正会員の入会承認について 第4号議案 賛助会員の推薦について

※第3回・第5回理事会では、定款第24条第4項に基づき、理事長及び執行理事の職務執行状況の報告が行われた。

(3) 監事会

会議名	期日	会場	審議事項
監事会	4/13	芸術協会 会議室	令和元年度事業報告及び会計監査

4. 事業について

(1) 宮城県芸術祭の開催【公益目的事業1】

定款第4条(1)に規定する57回目の開催となる宮城県芸術祭を、宮城県、仙台市、河北新報社、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、公益財団法人宮城県文化振興財団、公益財団法人仙台市市民文化事業団との8団体共催により開催した。

9月26日に開会式(会場:せんだいメディアテーク・参加者39名)を行い、11月24日には表彰式(会場:仙台市民会館・参加者118名)を行った。開催期間内における各事業の概要は次のとおり。

①展示関係事業

展示部門の会員の作品展を次のとおり開催した。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数
写真展	9/26～9/29	せんだいメディアテーク5F	2,107名	81点
彫刻展	9/26～9/29	せんだいメディアテーク6F	1,467名	29点
絵画展	10/3～10/6	せんだいメディアテーク5・6F	5,373名	日本画30点・洋画176点・役員等69点
華道展	10/10～10/13	せんだいメディアテーク5F	1,532名	22点
書道展	10/10～10/13	せんだいメディアテーク5・6F	3,100名	247点
工芸展	11/5～11/9	TFU ギャラリーミニモリ	1,704名	66点

※1 例年開催している会期内の催しとして、写真展「ギャラリートーク」、彫刻展「アーティストトーク」、華道展「いけばなデモンストラーション」、書道展「受賞者による揮毫会」は新型コロナウイルス感染予防の観点から中止とした。

※2 工芸展では小品コーナーを設け、30名の会員作品を会期内展示した。

②文芸関係事業

文芸部において各事業を次のとおり開催した。

なお、文芸祭では作品公募の実施を見合わせ、文芸賞受賞者による作品の感懐と朗読を行った。

事業名	期日	会場	入場者数	備考
「宮城県文芸年鑑」発行	10/15	—	—	750部発行
文芸祭	10/24	東京エレクトロンホール宮城	45名	

③人材育成事業

幅広い県民参加の促進と各部の裾野の拡大や後継者の育成を目的に人材育成事業を次のとおり実施した。

a. 公募展の開催

写真部、絵画部、彫刻部において一般公募の作品展を次のとおり開催した。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数
フォトサミット in Sendai 2020	9/26～9/29	せんだいメディアテーク5F	2,107名	応募(人数)1,614点(350名) 入選146点
絵画展(公募の部)	9/26～9/29	せんだいメディアテーク6F	1,467名	88点
彫刻公募展	9/26～9/29	せんだいメディアテーク6F	1,467名	応募19点、入選14点

b. 音楽コンクールの実施

第41回音楽コンクールをピアノ部門、ヴァイオリン部門の2部門で次のとおり実施した。

なお、いずれの開催日も出場者及び運営関係者のみに入場を制限し、無観客開催とした。

事業名	期日	会場	参加者	入場者数
第41回音楽コンクール (第4回)ヴァイオリン部門	予選 2/14	仙台銀行ホールイズミティ21	出場:43名 初級:14名 中級:21名 上級:8名	—
	本選 3/14		出場:46名 初級:10名 中級:17名 上級:4名 きらきら星:12名 ツイゴイネルワイゼン:3名	

事業名	期日	会場	参加者	入場者数
第41回音楽コンクール ピアノ部門	予選 2/21	仙台銀行ホールイズミティ21	出場:159名 初級A:28名、初級B:29名 中級A:33名、中級B:30名 上級A:25名、上級B:14名	—
	本選 3/21		出場:89名 初級A:18名、初級B:20名 中級A:17名、中級B:14名 上級A:13名、上級B:7名	

c. 各種セミナーの実施

写真部において、一般県民を対象としたセミナーを次のとおり開催した。

事業名	期日	会場	参加者	備考
第1回写真セミナー	10/16	芸術協会 会議室	18名	講師:吾妻 克美 会員
第2回写真セミナー	11/20	芸術協会 会議室	12名	講師:関 敏彦 会員
第3回写真セミナー	12/18	芸術協会 会議室	10名	講師:加藤 友一 会員

(2) 芸術文化の振興に関する展覧会、講演会、研究会、発表会などの主催又は後援【公益目的事業2】

定款第4条(2)に規定する本協会の主催及び後援の各事業を次のとおり開催した。

①鑑賞機会提供事業

多くの県民に本協会の会員による芸術作品や音楽会など鑑賞する機会を提供することを目的とした事業を次のとおり開催した。

事業名	期間	会場	入場者数	作品点数等
第57回宮城県芸術祭 絵画展受賞者作品展 [共催:公益財団法人宮城県文化振興財団]	12/15～12/21	東京エレクトロンホール宮城	499名	会員の部 44点 公募の部 14点
みやぎミュージックフェスタ in しろいし [共催:白石市・白石市教育委員会 公益財団法人宮城県文化振興財団]	3/27	白石市文化体育活動センター ホワイトキューブ	280名	出演 80名 内、協会会員 15名

②人材育成事業

芸術文化に関する人材育成と各分野の幅広い裾野拡大を目的とした各事業を次のとおり実施した。

事業名	期日	会場	入場者数	備考
第1回杜のみやこ工芸展 [共催:河北新報社 公益財団法人河北文化事業団 公益財団法人宮城県文化振興財団]	11/5～11/9	TFU ギャラリーミニモリ	1,704名	応募作品数(人数) 230点(201名) 入選:177点 内、入賞19・優秀作15
第7回定禅寺フォトコンテスト [共催:公益財団法人宮城県文化振興財団]	12/7～12/13	東京エレクトロンホール宮城	258名	応募:117点 内、入賞・入選:40点

③後援事業

「河北書道展」など、本協会に本年度申請された42件の作品展や演奏会に対し、後援名義の使用許可及び賞交付(賞状や賞品等)を行った。

(3) 国内及び国外との芸術文化の交流【公益目的事業3】

定款第4条(3)に規定する国内及び国外との芸術文化の交流を目的とした各事業を次のとおり実施した。

①東北・北海道芸術文化団体協議会交流事業

東北・北海道の各道県を代表する芸術総合文化団体との相互交流を図ることを目的とし、本協会含め7団体で構成する東北・北海道芸術文化団体協議会主催の交流協議及び事業を幹事地区の岩手県の主導により、「芸術文化活動の後継者育成と次世代育成」をテーマとして、事例紹介（本年度担当地区：北海道・青森県・岩手県・秋田県）を行った。

なお、当初の東北・北海道芸術文化団体協議会総会の開催日における報告会の開催から、新型コロナウイルス感染における県外移動の自粛などの観点から総会及び報告会の開催を見合わせ、北斗45号（2月15日付発行1,500部）での誌面報告に切り替えて実施した。

(4) 会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行など【他事業】

定款第4条(4)会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行及び、(5)その他この法人の目的を達成するために必要な事業として、本協会の活動状況等の発信及び会員同士の情報交換を図るため、機関紙「はなやま」、隔年発行により「会員名簿」を次のとおり発行した。

事業名	発行号数	発行日	発行部数	内容
機関紙「はなやま」刊行	224号	5/7	2,550部	総会開催連絡、県美術館移転要望書提出、令和2年度事業計画・予算書、協会の未来、賛助会員紹介
	225号	7/31		理事長挨拶、総会報告、芸術祭コロナ対応及び連携公募展進捗報告、令和2年度決算報告・収支決算
	226号	10/31		第57回宮城県芸術祭報告、協会の未来、芸術祭受賞者一覧、芸術選奨受賞報告
	227号	1/31		理事長年頭挨拶、第57回宮城県芸術祭表彰式・連携公募展総括報告、年男・年女会員年賀挨拶

事業名	発行日	発行部数	備考
「会員名簿」発行	7/1	2,400部	役員改選に伴うもの

◎本年度中止事業について

新型コロナウイルス感染状況及び事業運営に感染対策などの十分な安全性を確保できないことを考慮し、当初事業計画にあった次の事業を中止とした。

事業種別	事業名	担当部門	
公益目的事業1（宮城県芸術祭）	演奏関係事業	長唄演奏会	邦楽部(長唄)
	演奏関係事業	音楽会	洋楽部
	文芸関係事業	文学散歩	文芸部
		茶会	茶道部
	人材育成事業	受賞者によるガラ・コンサート	洋楽部
公益目的事業2（主催・後援事業）	伝統文化体験事業	第24回杜の都大茶会	茶道部
	人材育成事業	県民との美術交流・ギャラリートーク	絵画部
		書道部による県内小中学校への講師派遣事業	書道部
他事業	研修	絵画部スケッチ研修会	絵画部
	研修	講演会	協会全体